

# ジビエ利用モデル地区「和歌山県紀北地区」の取組概要①

## モデル地区の構想

- 捕獲人材の確保、育成等に取り組み、捕獲頭数を増加させるとともに、保冷車による輸送により、良質な個体を確保。さらに、「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」「わかやまジビエ肉質等級」に基づく処理と格付け表示や低需要部位を活用した商品開発により利用率の向上を図る。

## 特徴的な取組

- (一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会が会員間の連携や捕獲人材の育成に取り組むことで捕獲者を増員し捕獲頭数が増加。また、保冷車で処理施設へ搬入することで良質な個体を確保。
- 処理加工施設は「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」に基づく衛生的な処理を行うとともに、「わかやまジビエ肉質等級」による格付け表示で、流通・販売面での透明性を確保した高品質なジビエを供給。
- 加工品の製造機器を導入し、低需要部位（スネ等）を活用した商品（カレー、ハンバーグ、パスタソース等）を開発。商談会の開催やWEBサイトによるPR等を通じて販路を開拓。

## モデル地区の各体制



捕獲（和歌山市、海南市、紀美野町、紀の川市、かつらぎ町、有田市、湯浅町、有田川町、御坊市）（シカ・イノシシ）

一次処理

処理加工施設  
(一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会

一次処理のみ  
〔広域で捕獲した個体を搬入後、一次処理〕

二次処理

処理加工施設  
いの屋

二次処理まで  
〔一次処理後の枝肉を受入、二次処理〕

加工品製造

食肉加工品製造業  
(株) Meat Factory

低需要部位（スネ等）を活用した加工品を製造

### 捕獲

### 搬送・集荷

### 処理加工

### 販売

体制

- (一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会が捕獲者と連携して捕獲に取り組む。協会の会員数は68名(R2.3時点)で、広域に所在。協会では、人材の確保、育成に取り組み、会員間の連携に努めることで捕獲を強化。

- (一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会と捕獲者が連携し、処理加工施設に搬入。捕獲者による搬入が困難な場合には、協会の会員が捕獲現場で止め刺しし、保冷車等で回収。

- (一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会が一次処理を実施し、いの屋が二次処理を実施。
- 処理加工施設は「わかやまジビエ処理施設衛生管理認証」を取得。また「わかやまジビエ肉質等級」による格付け表示を実施。
- (株) Meat Factory が低需要部位（スネ等）を活用し、加工品を開発・製造。

- (株) JTB和歌山支店や、わかやまジビエ振興協議会がWEBサイトの構築・運営や商談会の開催、ジビエ商品のPRを実施し、販路を開拓。
- 加工品は販売するとともに、幼少期よりジビエに親しんでもらえるよう、学校給食食材として提供。

メリット

- 協会が捕獲者、農業者（新規免許取得者）等に対し、捕獲知識・技術の普及に取り組むことで、捕獲頭数が増加するなど地域の捕獲強化が図られる。

- 協会の会員が保冷車を活用して搬入することで、広域で捕獲された個体を良質なジビエとして利用が可能。

- 認証を取得した処理加工施設で衛生的に処理加工することで、高品質なジビエの供給が可能。
- 格付け表示で、流通・販売面での透明性確保。
- 低需要部位の活用で利用率が向上。

- 県内の処理加工施設や料理店、食肉卸、旅行会社等で構成される協議会と連携して取り組むことで、わかやまジビエとして効果的にPRが可能。

プレイヤー

- 捕獲者
- (一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会

- 捕獲者
- (一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会

- (一社)和歌山鳥獣保護管理捕獲協会
- いの屋
- (株) Meat Factory

- いの屋
- (株) Meat Factory
- わかやまジビエ振興協議会
- (株) JTB和歌山支店

# ジビエ利用モデル地区「和歌山県紀北地区」の取組概要②

## コンソーシアム名

わかやまジビエ紀北地区コンソーシアム

## コンソーシアム構成員

- (一社) 和歌山鳥獣保護管理捕獲協会〔事務局〕
- 処理加工施設
  - (一社) 和歌山鳥獣保護管理捕獲協会 (再掲)
  - いの屋
- わかやまジビエ振興協議会
- (株) J T B 和歌山支店
- (株) Meat Factory
- 和歌山市産業交流局農林水産部農林水産課
- 和歌山県農林水産部農業生産局畜産課

## ジビエ倍増モデル整備事業取組内容

### 整備事業

#### 取組内容

加工品製造機器の導入

### 推進事業

#### 取組内容

ジビエ商品の開発

意向調査 (WEBアンケート市場調査)

広報活動 (WEBサイト構築等)

商談会の開催

その他